

平成19年度リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成19年度リンゴ・落葉果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成20年1月21日(月)～22日(火)にオークラフロンティアホテルつくばにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者64名、委託関係者30名ほか、計106名の参集を得て、除草剤3薬剤(8点)、生育

調節剤9薬剤(25点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

リンゴの判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成19年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容 注)7ダガーは新たに判定された内容
1. NH-0077077 [®] ル ビ [®] ラフエニチル 0.16% ク [®] リホサートイソ [®] ロビ [®] ルアミン 塩 30% [日本農薬]	リンゴ	薬害 新規	青森県試果南 (ふじ) 長野県試 (ジョナゴールド) (2)	[薬害試験] ・春期→夏期(2回処理) 2000mL→2000mL<100> ・土壌処理 展着剤不要 ・春期または夏期(1回処理) 5000mL<100> ・土壌処理 展着剤不要 ・春期または夏期(1回処理) 100倍 ・樹幹処理 展着剤不要	実 ・ 継	実) [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・400～600mL/10a<10L/10a> ・茎葉処理 継) ・低薬量での効果の年次変動の確認 ・薬害試験の継続
2. SYJ-171液 ハ [®] ラコート 12.4% [シンジェンジャパン]	リンゴ	薬害 継続	岩手農研(ふじ) 富山農技果試 (こうたろう) (2)	[薬害試験] ・春期→初夏→夏→初秋 (3回処理) 4000mL→4000mL→4000mL <100> ・土壌処理 展着剤不要 ・春期または夏期(1回処理) 10000mL<100> ・土壌処理 展着剤不要 ・春期または夏期(1回処理) 50倍 ・樹幹処理 展着剤不要	実 ・ 継	実) [リンゴ: 雑草全般] ・一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 茎葉処理 500～1000mL <100～150L>/10a ・多年生雑草、スギナ対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 茎葉処理 1000～2000mL <100～150L>/10a 継) ・スギナに対する効果について、年 次変動の確認

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグ-ラインは新たに判定された内容
3. NC-622液 グリホサートナリウム塩 48% [日産化学工業]	リンゴ	適用性 継続 (H18)	千葉大学 (広島大) (ふじ) 岩手農研 (ジョナゴールド) 宮城農研 (千秋) 群馬中山間 (ふじ、新世界) (4)	[スギナ] ・ スギナ生育期 (草丈20~25cm) ・ 1500mL<25, 50, 100> 2000mL<25> ・ 茎葉処理 ・ 展着剤不要 対) ラウンドアップ 液 2000mL<50>	実	実) [リンゴ: 雑草全般] ・ 一年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) 茎葉処理 200~500mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) ・ 多年生雑草対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) 茎葉処理 500~1000mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用) ・ スギナ対象; 春~夏期 雑草生育期 (草丈30cm以下) 茎葉処理 1500~2000mL<25~100L>/10a (25~50Lは専用ノズル使用)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作 物 名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アグ-ラインは新たに判定された内容
1. AP-2Lくん蒸成型 1-メチルピコリン酸 6.7 μ g/cm ² [アグ ロフレッシュ インク]	リンゴ	適用性 新規	青森りんご試 (ジョナゴールド) 長野果試 (つがる) 岐阜中山間 (つがる) (3)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb (3.6枚/117L容器) ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷 用箱に入れる→収穫用コンテナま たは出荷用箱ごと、117L容処理 容器に入れ、所定量の製剤を置 く→直ちに密閉し12時間以上 静置 (暴露処理) →開封する→ 収穫用コンテナまたは出荷箱に入 れたまま室温で保存	継	継) ・ 効果、薬害の確認
AP-2くん蒸成型 1-メチルピコリン酸 12 μ g/cm ² [アグ ロフレッシュ インク]	リンゴ	適用性 継続 (H18)	長野果試 (ジョナゴールド) (1)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→冷蔵保存 1cm/箱容積10L (1000ppb) ・ 製剤から発生する気体に密閉 条件で12~24時間暴露 処理方法) 果実および所定量の製剤を入 れたコンテナまたは出荷箱を密閉容 器に入れる→12~24時間静置 (暴 露処理) →開封する→コンテナま たは出荷箱に入れたまま冷蔵庫に保 存	継	継) 前年どおり

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草; わらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL/く水量 L/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アダプティは新たに判定された内容
2. AKD-8086水和 キリチネート 12.5% フェニトロチン 25% [アグロネショウ]	リンゴ (早生 系 ふじ)	適用性 新規	岩手農研(昂林) (1)	[摘葉] ・ 収穫開始予定30日前 ・ 1000, 1500, 2000倍 ・ 立木全面散布 または枝別散布 ・ 展着剤を加用する (7ラボ→1000倍)	継	継) ・ 効果、葉害の確認
3. AKD-8152水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウム 4.4% [アグロネショウ]	リンゴ (つがる)	適用性 継続	北海道中央農試 (つがる) (1)	[収穫前落果防止] (1回処理) ・ 収穫開始予定21~7日前 1000, 2000倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 (反復処理; 2回) ・ 1回目: 収穫開始予定21~14日 前→2回目: 1回目処理7~10日 後 2000倍→2000倍 ・ 立木全面散布 または枝別散布 比)一任	実	実) [リンゴ: 収穫前落果防止] ・ 収穫開始予定日の21~7日前 ・ 1000~2000倍 1回散布 <300~600L/10a> ・ 立木全面散布 ・ 収穫開始予定日の21~14日前、 及びその7~10日後 ・ 2000倍 2回散布 <300~600L/10a> ・ 立木全面散布
4. MAE30β水和 リン酸カルシウム 77% ピチン 23% [丸尾加シム]	リンゴ	適用性 継続	青森りんご試 (ふじ) 岩手農研(つがる、 ジョナゴールド) (2) 宮城園研(つがる) 秋田果試 (ジョナゴールド) 長野果試 (ジョナゴールド) (6)	[摘花] (反復処理; 2回) ・ 1回目: 頂芽中心花満開時に人 工授粉し、その翌日散布→2回 目: 1回目散布2~3日後 ・ 100倍→100倍、 150倍→150倍 ・ 立木全面散布または枝別散布 ・ 展着剤不要 対) 石灰硫黄合剤 100倍	実・ 継	実) [リンゴ(ふじ): 摘花] ・ 満開日及びその2~3日後 ・ 100~150倍 2回散布 ・ 立木全面散布 注) 頂芽中心花満開(頂芽中心 花の7~8割が開花した日)の 翌日に使用すると摘花効果が 高い 継) ・ 品種の拡大
5. NAC水和 1-ナフタル-N-メチル-β-メ イト [H'エルクワップサイエンス]	リンゴ (ふじ)	適用性 継続	青森りんご試 (H19, H18自主) (ふじ) 長野果試(ふじ) (3)	[摘果] (反復処理; 2回) ・ 1回目: 満開2週間後頃→2回 目: 1回目散布3~4日後 ・ 1200倍→1200倍 十分量(350L/10aが目安) ・ 立木全面散布または枝別散布 対) 1回散布(満開後2週間頃) 1200倍	実・ 継	実) [リンゴ: 摘果] ・ 満開後2~3週間頃 ・ 1200倍 ・ 散布 ・ 効果が確認された品種: 国光, 紅玉, 旭, 祝, ふじ, むつ, 印度, 千 秋, つがる, ジョナゴールド, 王林, 北 斗, さんざ, 陽光, ハクタイ 継) ・ 2回処理での効果の確認
6. PDJ液 プロピドロジキソン 5% [日本ゼオン]	リンゴ (さん ざ)	適用性 継続	石川農総研 (さんざ) (1)	[着色促進] ・ ①収穫予定30日前 ②収穫予定25日前 ③収穫予定20日前 ・ 500倍 十分量(果実茎葉から薬液が均 一に滴り始める程度) ・ 立木全面散布 または枝別散布 ・ 展着剤加用 (アプロチBI 500倍)	実・ 継	実) [リンゴ: 果実の着色促進] ・ 収穫予定30~25日前 ・ 500倍 ・ 立木全面散布 ・ 効果が確認された品種: ジョナ ゴールド, 紅玉, つがる, ジョナ ゴールド, ふ じ 継) ・ 年次変動の確認(ジョナゴールド, 紅玉)

B. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率 (%)	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL(水量L)/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容 注) アナグライは新たに判定された内容
PDI液 [委託者]	リンゴ (陽光)	適用性 継続	千葉大学 (陽光) (1)	[着色促進] ・ ①収穫予定30日前 ・ ②収穫予定25日前 ・ ③収穫予定20日前 ・ 500倍 十分量 ・ 立木全面散布 または枝別散布 ・ 展着剤加用 (アノグライ 500倍)		・ 効果の確認 (さんさ、陽光)
7. Y-2液 W-Ca 8%, W-Mg 0.2%, Mn, B, Zn, Fe, Cu, Moを 微量に含む [吉澤石灰工業]	リンゴ	適用性 継続	岩手農研 (さんさ) 秋田果試 (さんさ) (2)	[品質向上、生理障害軽減] ・ 落花後 ・ 5回以上 (1 週間間隔) ・ 300倍 十分量 ・ 立木全面散布 または枝別散布 ・ 展着剤不要	継	継) ・ 効果、葉害の確認
8. CX-10液 シアナミド 10% [日本カーバイド工業]	リンゴ	適用性 継続 (H18)	千葉大学 (県立広島 大で実施) (ふじ) 富山農技果試 (秋映) 長野果試 (シアノグライド) (3)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 (12~2月) ・ 10, 15, 20倍 ・ 散布	継	継) ・ 効果、葉害の確認 ・ 試験のねらいについて
9. DNK-01液 シアナミド 13% [電気化学工業]	リンゴ	適用性 新規 (H18)	長野果試 (シアノグライド) (1)	[休眠打破による発芽促進] ・ 休眠期 ・ 15, 30倍 ・ 散布量300~400L/10a ・ 立木全面散布	継	継) ・ 効果、葉害の確認